



宮原小学校 コミスク通信

令和 4 年
5 月 26 日
No.1
学校運営協議会



コミュニティ・スクール 6 年目に!!



本年度 6 年目となる宮原小学校学校運営協議会ですが、昨年度はコロナ禍において制限のある中、行事や活動を中止するのではなく、できることを精選・工夫して活動を行いました。今年度もコロナ禍での感染防止対策がまだまだ必要ですが、昨年以上に地域の方との交流を積極的に取り入れ、宮原の子どもたちに一つでも多くまなびが深まる場を与えていきたいと考えています。今年度もコロナウイルス感染防止対策を十分に施しながら取り組んでいきますのでご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。



今年度の学校運営協議会委員の紹介 (敬称略) ～よろしくおねがいします～

会長	栗栖 豊和	委員	高垣 明子	委員	川口 真知子
副会長	澤崎 良樹	委員	中西 和美	委員	山崎 哲也
副会長	生駒 彩	委員	中尾 博文	委員	吉田 誠
		委員	松本 智行		

令和 4 年度 第 1 回学校運営協議会

4 月 27 日 (水)、第 1 回学校運営協議会が開催されました。今回の協議会では、委員の紹介、その後、学校運営協議会の目的や組織、役割、有田市学校運営協議会規則の共通理解、そして、学校経営方針及び教育活動や宮原小学校学校運営協議会としての今年度の取り組み等について説明・承認、意見交流が行われました。協議内容を一部抜粋します。



【学校経営方針について】

- 学力の向上…向上の手立てとしてタブレットを活用し、読解力と思考力の向上につなげる
コロナ禍で協同学習のスタイルなくなってきて、学力の低下が懸念される。
- 豊かな心の育成…情操教育（心が動く体験）につながる学習を計画的に取り入れる⇒自己肯定感や思いやりの心を育む
- 健やかな体の育成…体育科の授業改善（技術指導スキルの向上、指導技術の共有）、生活リズムの確立
- 地域とともにある学校…地域の方々との積極的な交流

【学校運営協議会としての今後の活動について】

- 竹灯籠づくり、展示、ライトアップ
今年度も宮原地域交流協議会のご指導とご協力で実施。
- いちご狩り（6 年生）…地域のいちごハウスで体験。
- みかん狩り（3 年生）…地域のみかん畑で体験。
- 『宮原小学校コミスク通信』の発行…コミュニティ・スクールとしての取り組みを発信していきます。
- 盆踊り…宮原小学校の運動会に取り入れる方向で。

これらの活動以外にも、子どもたちと地域の方々との交流の機会を積極的につくり、色々な経験をさせてあげたいな。



4年生

『日根藤六之碑』の周りにヒマワリの種植え



須谷から有田川町に向かって陸橋を過ぎたところに『日根藤六之碑』があります。日根藤六さんは、江戸時代におきた水害の復旧に尽力し、その際に須谷地区にも堤防を築いて、水害からたくさんの人々の命を救ったと語り継がれています。須谷地区や宮原愛郷会の方々が、7月18日の水害を忘れないために、さらに日根藤六を知ってもらおうと、3年前から『日根藤六之碑』の周りにヒマワリを植える活動を続けているそうです。今年度も5月10日に実施され、4年生が参加させていただき、地域の方々のご指導の下、種を土に埋めました。活動の前日には、事前学習として、活動を続けている地域の方に日根藤六の功績や活動を続けている理由、地域住民の思いなどについてお話を聴かせていただきました。今回の学習を通して、子どもたちは、地域の方々が本当にふるさとを大切に思い、ふるさとのためにがんばっていることや、地域の歴史を語り伝える活動に携わる人々の思いを知ることができ、ふるさと学習をより深めることができましたと思います。また、担任の先生の話では、活動の様子を家族に話した子が半数近くいて、「お母さんが7月18日近くになったら見に行こかと言った」とか「近くを通りかかったら見に行こかと言った」と話してくれる子もいたそうです。



昨夏咲いたヒマワリ

盆踊りの練習



5月17日のお昼休憩、地域の方々が高学年の子どもたち（5・6年有志）に盆踊りを教えてくださいました。参加した子どもたちは、講師先生の動きを見様見真似で覚えていきます。最初は戸惑っていた子どもたちも、回数を重ねるごとに動きがそろってきて、「もう完全に覚えた」「バッチリ！」などという、自信たっぷりの声が聞かれるほどに上達。わずか20分程度でマスターしてしまう小学生の力はすごいですね。

まずは5月29日に開催される宮原小学校の運動会でこの盆踊りを全校児童で踊ります。その先生役がこの日練習に参加した高学年の子どもたちなのです。地域の方から学んだ踊り方を自分の学校の全校児童に教えるのです。まさに、宮原小学校が培ってきた「教え合い・学び合い」の教育スタイルが活かされてくるのです。このような体験を通して、コミュニケーション力、思いやりやさしさ・いたわりの心が育ち、お互いを正しく理解して、助け合ったり支え合ったりできる関係を育んでいってほしいと思います。運動会当日、みんなが笑顔いっぱい、楽しく盆踊りを踊っている姿を観るのがとても楽しみです。



5年生 ジャがいもの間引き、土寄せ

今年度も、5年生が『パワフルおいやんクラブ』の方々にご指導とご協力をいただいてじゃがいもを育てています。3月に、種イモの切り方、腐らないための工夫、植え方などについて教えていただきながら一緒に種イモの植え付けを行いました。

そして5月18日、この日は間引きや除草、土寄せの仕方を教えていただきました。「間引き」は、よい芽を数本残して残りは引き抜きます。そして、間引きをしたらイモを地上に露出させないために「土寄せ」をします。イモは日光に当たると緑色に変色して、変色した部分には毒が発生するので食べられなくなるそうです。つまり、立派なじゃがいもに育てるためには、どちらの作業もとても重要だということですね。おいやんクラブの方々は、子どもたちと上手にコミュニケーションをとりながら優しく丁寧に教えてくださいました。子どもたちも熱心に話を聴き、教えてもらった通り注意点を守りながらこつこつと作業を続けていました。途中、土の中からミミズが出てきて驚いたり、おいやんたちと親しく話をしたり、楽しく活動できたようです。

みんなから手間と愛情をたっぷりかけてもらっているのできっと美味しいじゃがいもに育つことでしょう。

